

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)

【公開番号】特開 2007-126470 (P2007-126470A)

【公開日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2007-019

【出願番号】特願 2006-340424 (P2006-340424)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 13 日 (2011.4.13)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イオタ - カラギーナン、澱粉、可塑剤、および緩衝剤を含み、
澱粉がヒドロキシプロピル化タピオカ澱粉、ヒドロキシプロピル化酸改質タピオカ澱粉
、ヒドロキシプロピル化メイズスターチ、酸改質ヒドロキシプロピル化コーンスターチ、
フラッシュ乾燥酸改質天然コーンデントスターチ、プレゼラチン化改質コーンスターチ、
プレゼラチン化酸希釈改質コーンスターチ、マルトデキストリン、および馬鈴薯澱粉から
なる群から選ばれる少なくとも 1 種を含み、

イオタ - カラギーナンの含有量が 12 ~ 24 重量 % である

軟質カプセル用乾燥フィルム組成物。

【請求項 2】

澱粉とイオタ - カラギーナンとの重量比は 1 . 5 : 1 ~ 3 : 1 の範囲である、請求項 1
に記載の組成物。

【請求項 3】

可塑剤がグリセリンである、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

緩衝剤がナトリウム塩もしくはカリウム塩である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載
 の組成物。

【請求項 5】

保存料をさらに含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

シェルと充填材料とを含み、シェルは実質的に請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組
成物からなる軟質カプセル。

【請求項 7】

イオタ - カラギーナンが有効弾力化量にて存在する、請求項 6に記載の軟質カプセル。

【請求項 8】

澱粉が構造化フィルムのために有効な量にて存在する、請求項 6 または 7 に記載の軟質カプセル。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

さらに軟質カプセル用の乾燥フィルム組成物も開示され、この組成物はイオタ - カラギナンと改質澱粉との混合物を含有する 42 ~ 84 重量%のゲル形成剤と、可塑剤と、緩衝剤とから実質的になっている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0064

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0064】

本発明にて有用な市販入手しうる澱粉の代表例はピュア・コート（商品名）B760およびB790（酸改質ヒドロキシプロピル化コーンスターチ）、ピュア・コート（商品名）B793（プレゼラチン化改質コーンスターチ）、ピュア・コート（商品名）B795（プレゼラチン化改質コーンスターチ）、およびピュア・セット（商品名）B965（フラッシュ乾燥酸改質天然コーンデントスターチ）[これらは全てグレイン・プロセッシング・コーポレーション・オブ・ムスカチン、アイオワ州から入手しうる]を包含する。他の有用な市販入手しうる改質澱粉はC⁺アラテックス（商品名）75701（ヒドロキシプロピル化酸改質タピオカ澱粉）[セレスター・インコーポレーション・オブ・ハーンモンド、インディアナ州から入手しうる]；M250およびM180（マルトリン（登録商標）；マルトデキストリン）およびピュア・デント（商品名）B890（改質コーンスターチ）[グレイン・プロセッシング・コーポレーションから入手しうる]；並びにミドソル・クリスプ（改質高アミロースコーンスターチ）[ミッドウエスト・グレイン・インコーポレーション・オブ・アトキンソン、カンサス州から入手しうる]を包含する。ここで使用するのに適する唯一の天然（未改質）澱粉は馬鈴薯澱粉である。この種の澱粉はポテト・スターチ・スプラ・バクターとしてロケット社から入手しうる。